

みんながつながり せかいとつながる

特集

～ともにみらいをつくるまち～



東広島市には、大学や半導体などの先端産業の集積を背景に、世界中から言語や文化の異なる人々が集まっており、今後もさらに多様化が進むことが見込まれます。

目指すは、誰もが同じ市民として個性や能力を生かして活躍でき、世界中の人々から選ばれ成長を続けるまち。そのために、本市はグローバルスタンダードな生活環境づくりに取り組んでいます。

皆さんもお互いを知り、世界とつながりませんか？

☎ 市民生活課 ☎ (082) 420-0922

誰にもやさしいまちは世界から選ばれる！

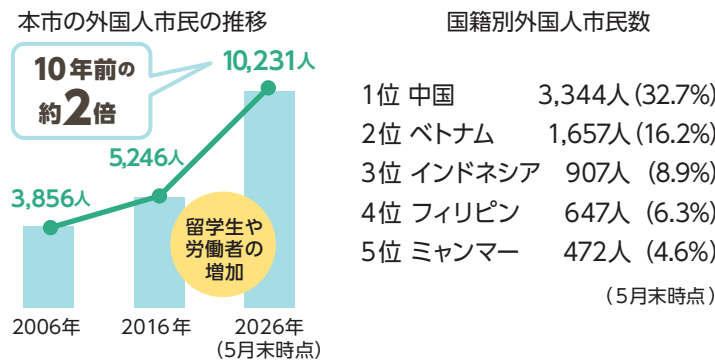
グローバルスタンダード = 誰もが暮らしやすい

グローバルスタンダードとは世界の国々で広く使われている共通のルールや規格のこと。例えば多言語表示や、環境へ配慮することなど、「世界共通の当たり前」を地域に取り入れて暮らしやすくすることです。「分かりやすい表現を心がける」などの意識を持つことも含まれます。

本市は、日本の文化を大切にしながらも、誰もが「暮らしやすい」と感じられるグローバルスタンダードな魅力あるまちを目指しています。

国際化が進む東広島市

外国人市民は
約1万人 (約20人に1人)
100カ国以上！



市民アンケート 市内に多くの外国人が住んでいることについてどう思いますか？

	「外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる」と思う	「習慣や文化の違いがあり不安」と感じる
身近に外国人がいる人	外国人市民が身近にいる人は 43.6%	外国人市民が身近にいない人は 27.1%
身近に外国人がいない人	外国人市民が身近にいない人は 36.6%	外国人市民が身近にいる人は 30.4%

出典：令和5年度市民満足度調査「東広島市に暮らす外国人についての考え」

お互いを知り、理解を深めることが みらいのまちへの第一歩

つながる ヒント

共に **楽しむ** **学ぶ** **暮らす**

職場や学校、地域活動など日常の中にお互いを知り、つながるヒントがあります。

詳しくは4・5ページ

国籍を超えて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組む龍王住民自治協議会(西条町)にインタビュー。地域の活動をサポートし、地域と外国人市民をつなぐ多文化共生コーディネーターにもお話を伺いました。

多文化共生コーディネーターに 相談したきっかけは？

龍王地区では外国人市民が増え、地域から言語や文化の違いによる不安の声がありました。そんなとき、龍王小学校には約40人の外国人の子どもたちが通っていることを知りました。身近に多様な人がいることをまずは日本の子どもたちに知ってもらい、国籍などの違いに関わらず、同じ住民として接してほしい。そんな思いから、外国人市民にも行事に参加してもらうにはどうしたらよいかを相談しました。

どんな取り組みをしているの？

親子で参加できるイベントなど、子どもをまんなかにして、国籍や世代などに関わらず誰もが参加できる交流の場を作っています。日常の行事で住民同士が自然とつながり、会話が生まれています。

大切にしていることは？

大切なのは、外国人市民を特別視するのではなく、同じ地域で暮らす住民として関わること。身近な交流を通じて互いを知ることで、不安は少しずつ安心に変わっていくと思います。

龍王住民自治協議会
事務局長
三宅さん



親子で遊ぶイベント (延べ300人が参加)

どんなサポートをしているの？

地域から外国人市民に行事を周知したいという相談があったときは、日本語のチラシをやさしい日本語や英語に変換したり、LINEアプリなどを使って外国人市民へ情報提供をしています。

地域の皆さんへメッセージ

外国人市民から、日本の地域生活に溶け込みたいという声を聞きます。日本人市民と外国人市民が互いに安心して暮らせるよう、架け橋となってサポートしますので、気軽に相談してください。(相談窓口は5ページ)

多文化共生コーディネーター
武藤さん



日常での交流から
地域の不安を安心へ

共に楽しむ

毎年秋に開催される「東広島国際フェスタ」は、世界の踊りや歌、グルメなどを通して、さまざまな国の文化を楽しく知ることができるイベント。多様な国籍のボランティアスタッフが企画・運営し、スタッフ同士の交流も深まります。昨年は10カ国の人が出店し、約6,000人が来場しました。

東広島国際フェスタ▶

令和8年開催は
日/10月25日(日)
場/西条中央公園(テニスコート側)



「東広島国際フェスタ」のボランティアスタッフ



最初は、外国人に近寄りかたさを感じていました。徐々に距離が縮まり、自分が意識しすぎていたのだと実感。知らない相手だから不安に感じるだけで、国籍は関係ないのだと思いました。

小早川さん

総合司会を務め、日本語と英語で進行しました。ステージや客席の様子を伝えるのは難しかったです。仲間に表現を教わりながらやり遂げた経験が自信になりました。

スニルさん
(ネパール出身)



打ち合わせでは言葉が通じない時に聞き返したり、ジェスチャーを交えたりしながらコミュニケーションをとりました。お互いに伝えようとする姿勢が大切だと感じました。

上奥さん



共に学ぶ

市内4カ所で開催される「にほんごわいわい」は、外国人参加者と日本人ボランティアが日本語で話し交流する場。互いの言語や文化への理解を深めるとともに、外国人参加者は学んだ日本語を生活や仕事に活かしています。

国際交流
ボランティアスタッフ
募集中▶



「にほんごわいわい」安芸津の参加者

日本の歴史が好きで話が盛り上がりました。話し方を教わり、自国の文化を紹介するのも楽しい。どんどん話して、日本語をスキルアップしたいです。

アンジャルさん
(インドネシア出身)



日本人ボランティアも、参加者との会話を通じて文化に触れ、職場などで外国人市民とコミュニケーションがとりやすくなるなど、好循環が生まれています。

多文化共生
コーディネーター
吉野さん



安芸津町に来たばかりの頃は、方言が分からず困りました。言葉の意味や使い方を教えてもらい、少しずつ話せるようになって、職場などでの会話が楽しくなりました。

スプハンさん
(インドネシア出身)



共に暮らす

職場や学校、買い物、地域活動など、日常の中で外国人市民と接する機会があります。地域で共に暮らしていくにはコミュニケーションが不可欠。言語や文化の異なる相手への伝え方のヒントを紹介します。

コミュニケーションのヒント

やさしい日本語

で伝えよう

やさしい日本語とは、普段使っている言葉を、外国人に伝わりやすいように配慮した日本語です。短く・ゆっくり・はっきり・簡潔に・難しい言葉は言い換えることが基本です。文末は丁寧語で「です・ます・ください」で統一しましょう。

記入してください

バタバタしています

豪雨災害時は、避難所に避難しなさいよ

熟語ではなく簡単な話し言葉で

日本語特有の擬音語は言い換えて

行政用語などは説明しながら、方言は標準語で伝えましょう

OK! 書いてください

OK! 忙しいです

OK! たくさん雨が降って危ない時は、安全なところに逃げてください。近くに、逃げるところがあります。誰が行っても大丈夫です。

「やさしい日本語」の出前講座を行っています

【メニュー】 No.7 「やさしい日本語」で国際交流
【所要時間】 60分程度
【申し込み】 申込書を市に提出



「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」(出入国在留管理庁ホームページ)▶



「やさしい日本語」紹介動画▶



多文化共生ヒント集

困ってそうだけど、どう声をかけたいのかな...

外国人市民とのコミュニケーションの方法や相談窓口など、日常生活で役立つ情報を掲載しています。



VoiceTra (ボイストラ)

いろいろな国の人と話してみたいな

総務省が所管するスマートフォン用の多言語音声翻訳アプリです。世界33言語に対応(5月末時点)。



多文化共生コーディネーター相談窓口

(公財)東広島市教育文化振興事業団が運営するコミュニケーションコーナーで、地域での多文化共生に関する相談を受けています。

【受付】 月～金 9:00～15:45
【場所】 サンスクエア東広島内
【電話】 082-424-3811



アンケート実施中!
特産品に関するアンケート

アンケート回答者の中から抽選で市の特産品を贈呈します。回答期限は7月31日(金) 回答はこちら▶



Quiz Quiz

次のうち「グローバルスタンダード」に当てはまるものは?

- A. ユニバーサルデザイン
- B. SDGs
- C. 異なる文化や価値観を尊重する

答えは **全部正解!**
「世界共通の当たり前」を一人一人が意識することで、誰もが暮らしやすく、世界とつながるまちに近づきます。

グローバルスタンダード
!!
“誰もが暮らしやすい”だね!

